

令和2年度学校関係者評価書

川南町立 山本小学校

4段階評価 4:期待以上 3:ほぼ期待どおり 2:やや期待を下回る 1:改善を要する

項目	評価指標 及び 具体的目標	自己評価		自己評価結果の考察・分析および改善策等	学校関係者評価	
		項目	総合		評価	意見
I 町民総ぐるみによる教育の推進	1 学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。 ・地域の物的、人的教育力の積極的活用 ・自治公民館や関係機関との連携の推進 ・保護者と連携した生活リズムの確立	3		・コロナ禍により、公民館(地区)事業が実施できなかったため、職員・児童の参加もできなかった。地域の物的・人的教育力の活用については、可能な限り努めてきた。 ・学校便りや保健便りを通して生活リズムの改善に取り組んできた。ただ、家庭ごとの理解度に差があり、引き続き啓発していく必要がある。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 学校からの情報発信もたいじですが、保護者からの情報発信もたいじです。親からの意見を多く提供できる取組が必要です。 コロナの影響により、本年度思うようにできなかった地域との交流を来年度、状況が落ち着きしだい積極的に地域の人達のマンパワーを活用しながら、交流を図り、地域に根ざした学校運営を望みたい。 新型コロナウイルス感染症の中、計画の変更や出来る方法を探りながらの1年間、先生方のご尽力に感謝いっぱいです。項目3の評価は「3」でもよいかなと思います。毎月、回覧板で学校だよりを楽しく読ませていただきました。また、オープンスクールも参観日と違う子どもたちの様子が見られたのではと思います。私も参観させていただきましたが、生き生きと活動する子どもたちに学校で育んでいただいていることをうれしく感じました。
	2 家庭や地域の教育力の向上に努める。 ・中学校と連携した取組及び家庭教育力向上に向けた取組の推進 ・家庭学習習慣の確立	3	3	・基本的な生活習慣向上に向けた取組については、校内・家庭両面において推進している。 ・家庭教育学級については、年間を通しての活動はできなかったが、2学期に新型コロナウイルス感染防止対策をとった上で、講演会を実施した。保護者に来校いただく機会は少なかったが、学校の諸対応については文書等により連絡し、理解を得られていたと考える。		
	3 開かれた学校づくりを推進する。 ・学校からの情報発信の活性化 ・学校評価を生かした教育課程の改善 ・オープンスクールの実施		2	・月1回の学校便りの発行を通して家庭、地域への情報提供を行ってきた。このような時期であるからこそ、ホームページによる情報提供を随時更新し、教育活動への理解を推進していく。 ・オープンスクールを実施し、多くの保護者等の参観があった。 ・保護者対象の学校評価をいただいたご意見については、次年度の教育課程に生かしていく計画である。		
II 生きる基盤を育む教育の推進	1 確かな学力を育む教育を推進する。 ・「わかる」「できる」授業の展開 ・ICT活用の推進 ・基礎基本の定着と活用力の育成 ・主体的な学習の推進 ・読書活動、NIEの推進		4	・学力調査等の分析を行い、本校児童の学力向上に応じた学習指導の実践に取り組んできた。1月に実施したCRT学力調査結果も全学年において全国比もしくはそれ以上の結果が残った。ただ、個人差が大きい学年もあるため、今後も指導法の工夫や学習意欲の向上に向けた取組が必要である。 ・町雇用図書事務職員の配置が、図書室環境の向上につながっている。今後は、表現力及び読解力向上に向けた読書活動の推進に加え、NIEの推進にも取り組んでいきたい。	4.0	<ul style="list-style-type: none"> 個人差はだれでもあります。今後とも根気強くご指導のほどよろしくお願いたします。 現状を維持しながら、更なる向上を期待したい。 CRT学力調査結果が、全国比以上であること、大変素晴らしいことだと思います。図書事務職員配置も、このまま町に続けてほしいと思います。
	2 豊かな心を育む教育を推進する。 ・「山本小当たり前のこと3か条」の指導を中心とした基本的な生活習慣の定着 ・道徳教育の充実及び規範意識の向上 ・いじめ、不登校を目指した積極的な生徒指導、人権教育の推進 ・勤労意欲、奉仕、自然愛、郷土愛の精神の醸成		3	・山本小当たり前3か条については学校においてはほぼ実践できている。マンネリ化にならないよう、啓発の工夫も今後は必要である。また、家庭や地域への啓発も引き続き推進していく。 ・毎月実施しているハートフル委員会を通して、望ましい人間関係の醸成、豊かな学校生活に向けて早期対応を心掛けてきた。細かなトラブルはあるものの、児童の人間関係はおおむね良好である。 ・朝のボランティア活動は計画の実施ができ、児童の勤労奉仕に関する意欲は維持できている。緑の少年団活動についてはコロナ禍の影響もあり、活動内容が縮小された。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> じいちゃん、ばあちゃん達の話を書いたり、自然にふれさせたり、たくさんの体験させて下さい。 学校と家庭での生徒の取組の差が感じられるため、学校でできていることが外でも当たり前よりの取り組めるようになる必要がある。 目標に向かって計画的に行動が行われている様子が伺えます。参観日、読み聞かせ等で子どもたちの様子を見ていただいておりますが、明るく元気でのびやかな成長を感じます。
	3 健やかな体を育む教育を推進する。 ・教科体育の指導の充実 ・健康の望ましい態度や習慣の育成(病欠欠席0の日100日以上) ・食に関する指導の充実 ・保護者と連携した生活リズムの確立		3	・体力向上プランに沿った指導を展開している。本校の実態としては、体格が小さく、体力の個人差が大きい傾向にある。実態に応じて今後も指導の工夫に取り組んでいきたい。 ・児童の病欠欠席が少ないことから、健康意識の向上がみられると考えている。 ・運動中や休み時間での軽いけが等はありますが、大きなけがには至っていない。 ・給食の残量は昨年同様少ないが、1・2年において食が細い児童の割合が高いことが気になっている。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で、早寝早起き、朝食は必ず食べる習慣を身に付けてほしいです。 食に対しての意識が低いことから体作りができず、合わせて学校以外で体を動かす機会が少ないことから、体力の低下が起きると考えられる。 病欠欠席が少ない、大きな怪我もないようですが、体力向上との兼ね合いも考えられ、今後もプランに沿って続けていきたいと思います。給食の残量は少ないようですが、食の細い子の割合については心配な所だと思います。
	4 共生社会を目指す特別支援教育を推進する。 ・通常学級における支援体制の確立 ・関係機関との連携強化		3	・特別支援教育コーディネーターを中心に、計画的な教育推進ができている。特別支援教育に対する保護者の理解も高まっていると感じている。通常学級における特別に支援が必要な児童についても、児童理解を深め最善の教育環境になるよう、今後も早期対応を推進していきたい。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> くりかえし保護者と子供には情報発信をしていく。 現状を維持し、特別に支援の必要な児童が良い教育が受けられるようにしていきたい。 それぞれの子どもに合った教育環境を整えられた教室を拝見し、先生のお知恵を感じます。今後も職員・保護者の更なる理解に努めていきたいと思います。
III を自育立む教社育推進、職業人を	1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を育む教育を推進する。 ・地域伝統文化の継承 ・郷土愛の定着を目指した活動の推進		3	・今年度はコロナ禍の影響で披露の機会は少なくなったが、地域の伝統芸能である奴踊りは今後も守っていきたい。今年度も補助金を活用し、衣装等も充実させている。 ・緑の少年団活動については、町からの補助により、制服をそろえることができ、児童の活動意欲も高まった。次年度は年間計画に沿った活動ができることを願いたい。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中でもできることはあります。みんなで考えて取り組んでください。 地域独自の伝統や文化の継承や自然に対する愛を高める活動の継続を望む。 新型コロナウイルス感染症の影響で縮小せざるをえないことも多かったのではと推測しますが、先生方の工夫や感染防止対策を取りながらの取組に敬意を表します。ありがとうございました。
	2 キャリア教育を推進する。 ・キャリア教育関連諸活動の実践と見直し ・地域教育力の積極的活用		3	・各学年の年間計画に沿った活動が展開できている。特に今年度はふるさと(川南町)理解ということで、新型コロナウイルス感染防止対策をとりながら、できる限りの社会見学や遠足の校外学習、GT招聘を実施し、キャリア教育につながる地域理解学習に取り組んできた。		
IV 環境力のある整備教育、充実する体制や	1 教職員の資質向上に努める。 ・教師力向上に向けた研修体制の確立と、職場環境の一層の改善 ・コンプライアンス遵守の徹底 ・組織的指導体制の推進		3	・コロナ禍により、校外での研修への参加がほとんどできなかったが、校内の研修は、初期研修への協力を含めて積極的な取組の姿勢を感じている。今後もOJTの考えの浸透と体制づくりを推進していきたい。協働意識の向上も維持されている。 ・コンプライアンスについては、計画的な研修やチェックシートでの活用により、意識の向上がみられる。	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 自ら考えやってみる。(先生、親、子ども) 情報収集→あぶない事・危険な場所 現代に合った教育法の向上や環境の向上を学校には目指してもらい、地域は安全面を確保することへの積極的取り組みを行うことが必要。 OJT、自己研鑽等、教師力の向上に努めていただき、とてもありがたいことだと思います。安全な環境づくりのため、よろしくお願致します。安全な環境づくりのため、先生方の目線と子どもの目線、両方でのチェック、また、危険予知、回避能力の育成、これから生きていく上でとても大切な力を学んでいると思います。
	2 学校における安全、安心な確保に努める。 ・安全に関する危険予知・回避能力の育成 ・安全、安心な環境づくりの推進		3	・新型コロナウイルス感染防止対策は年間を通して行い、指導の意識も高まりが見られる。また、避難訓練や定期的講話により、危険予知、回避能力の育成にも努めてきた。 ・教師、児童双方による安全点検の実施により、校内の安全な環境づくりに努めてきた。町教委の技術員の方々の早期対応にも感謝している。		